

●● 当院の泌尿器科では

腎移植を除く全ての泌尿器科疾患を診療しています。前立腺外来、結石外来、排尿機能外来などを行っています。また、泌尿器科は、尿路結石での発熱や疼痛など、救急対応が必要な場合もあり、当院の24時間体制の救急外来からの患者さんも引き続き診療しています。安定期になれば、近隣の開業医の先生にも対応できるよう連携をとっています。

【当科で多く手がけている疾患】

がん

当院は厚生労働省指定の地域がん診療連携拠点病院であり、多くのがん症例の治療を行っています。地域の先生方との協力によるPSA検診から見つかる前立腺がんに対する手術療法、放射線療法、内分泌療法（ホルモン療法）を多く手がけています。また、腎がん、腎盂尿管がんに対する腹腔鏡手術も、複数の認定医を中心に、多数例行なっています。各種がんに対する化学療法（抗がん剤治療）、腎がんに対する分子標的薬療法※1から、全がんにおける緩和医療期までの一貫した医療を行なっています。

※1 分子標的薬療法：がんだけを標的に攻撃する新しいタイプの薬剤。



尿路結石

体外衝撃波結石破砕術（ESWL）※2は新機種を導入しました。ESWL以外にも、最新の内視鏡を用いた尿管鏡手術、および腎盂鏡手術も行っています。

※2 体外衝撃波結石破砕術（ESWL）：衝撃波を体の外から結石に向け照射し、細かく砕く。肉体的負担が少ない。



前立腺肥大症

前立腺は、加齢と共に肥大する傾向があり、このため尿がでにくくなるなどの排尿障害がおきます。以前は100gを越える大きな前立腺肥大に対しては、開腹手術を行ってききましたが、近年、新しい手術療法として、経尿道的前立腺核出術（TUEB※3）が開発されました。TUEBにより、大きな前立腺でもお腹を切らない経尿道的手術が可能となりました。

※3 TUEB：3 ページ豆知識参照

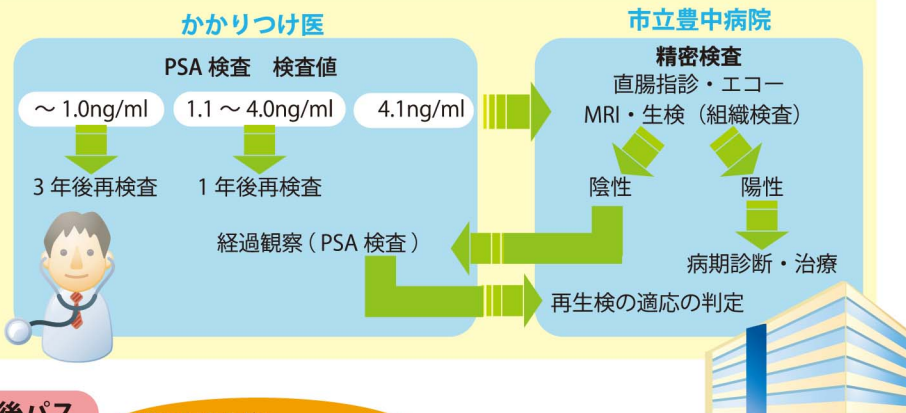
●● 地域連携パス

「連携パス」とは、地域のかかりつけ医と豊中病院の医師が、患者さんの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。「連携パス」を活用し、かかりつけ医と豊中病院の医師が協力して治療を行います。

PSA連携パス

豊中市でも平成23年4月から、50歳以上の男性を対象に市のPSA検査（前立腺がん検診）が受けられるようになりました。

※PSA検査：少量の採血をして前立腺がん以外のがんでは数値が上昇しない血液中のPSAというたんぱく質の濃度を調べる。初期診断に有効。



TUR-BT※4術後パス・前立腺全摘後パス

術後10年をめぐり、定期的な診察や検査を行います。



※4 経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-BT）：内視鏡を用いて膀胱腫瘍または、その疑いのある病変を切除する手術。

この「連携パス」を使用することで、豊中病院と地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することをめざしています。